

# クラシックコンサート のたしなみ

「奏でること」、「聴くこと」

## 1 開演前にチェック!

### □ 携帯電話の電源、時計のアラーム音はオフに

着信音やアラーム音が鳴る機能付きの機器はあらかじめ電源をお切りください。画面が発光するタブレットなどの機器も演奏中はご使用をお控えください。

客席内の写真撮影・録音・録画は固くお断りします。

### □ 荷物は客席に持ち込みます

大きな荷物はもちろん、ガサガサと音が気になる買物袋や雨で濡れたコートもクローケにお預けください。  
客席で気兼ねなくごゆっくりご鑑賞いただけます。

### □ お早めに客席へ

基本的に演奏中は客席内に入れません。時間に余裕をもってご着席ください。また、指定席の場合、空席がある場合でもチケットに記載されたお席以外への移動はご遠慮ください。

### □ ご飲食はホワイエで

ご飲食はホワイエのドリンクコーナーをご利用ください。  
一旦ホール内に入場したあとも、チケットの半券を携帯いただければホールの外へも出られます。  
客席でのご飲食はご遠慮いただいております。



## “聴く”ために! 2 演奏が始まつたら…

### □ 鑑賞中に気になるアコレ

- のど飴の包み紙をやぶる音
- キーholderの鈴
- プログラムをめくる音
- 話し声
- 香水やタバコのニオイ
- リズムに合わせた過度な動き
- いびき…。

「私も気になったことがある」という方も多いのでは?

### □ 周囲への心配りを

咳込みやくしゃみの際はハンカチを口元にあてるなど、周囲へのご配慮を忘れずに。席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることもあるのでご注意ください。

### □ 拍手は焦らず、がコツ

拍手のタイミングは難しくありません。目安は、指揮者のタクトが降りてから。周りから拍手が聞こえ始めてからでも大丈夫。  
プラボーや掛け声も同様です。  
演奏の最後に残る音の余韻も十分にご堪能ください。

### □ レセプショニストにお任せを

コンサートのひとときを心ゆくまでお楽しみいただけるよう、  
レセプショニストがお客様のお手伝いをいたします。  
「困った」「わからない」そんなときには入口の総合案内、  
またはお近くのレセプショニストにお気軽にご相談ください。



サントリーホールに残る  
マエストロのことば

*Message from  
Herbert von Karajan*

コンサートでは壁に向かって演奏するのではなくて、  
そこに集まつた人たちと一体になつて、  
一緒に、共に音楽をするのです

ヘルベルト・フォン・カラヤン

1983年、ベルリンにて。  
サントリーホールの設計に対する  
故・佐治敬三へのアドバイス。